

商品のような人生から作品としての人生へ

こんにちは、フリップジャパンの藤井恵嗣（ふじいけいし）です。
お元気でしたか？
前回に引き続き『自分らしさ』の原点である「人間らしさ」について一緒に考えたいと思います。

まず、1つの質問をさせて下さい。

Q.「あなたは、商品と作品の違いはなんだと思いますか？」

私は商品と作品の違いには、以下のような違いがあると考えます。

商品は傷がつくと欠陥品になる → 作品は傷さえも味になる
商品は消耗品として捨てられる → 作品は宝物としていつまでも大切にされる
商品は便利さを与える → 作品は感動や喜びを与える
商品は比較競争原理で評価される → 作品はユニークさや個性が評価される

如何でしょうか？

色々な考えがあると思いますが、一緒に考えたいことは、本来、私たちは、誰もが人間らしく、自分らしく、オンリーワンで個性豊かな「作品」として作られているにも関わらず、まるで「商品（物）」のような生き方、存在になってしまっていることはないか？
自分の子どもや周りの人を商品のように扱ったり、商品のように生きることを強要していることはないか？と言うことです。

このニュースレターを読んで下さっている皆さんは、作品のような人生を歩んでおられると思いますが、私などは、いつの間にか、比較競争原理、弱肉強食の社会の枠組みの中に飲み込まれてしまって、商品のような生き方になっていることが多々あります。

しかし、本来、私たちは、誰もがオンリーワンで個性豊かな「作品」として作られているのです。
商品のように生きることは、人間らしさと自分らしさを失わせることになると考えます。

私たちが自分を「作品」しかも『最高傑作』として捉えて生きるなら、まさに自分らしく、その個性やユニークさが生き生きと溢れるような、充実した豊かな人生へと導かれていくのではないのでしょうか？
反対に、商品のような生き方になるなら、いつも他者（他の商品）との関係で、どちらが有能で何ができるかできないかで評価しあい、いつか自分は欠陥品として捨てられるのではないかとビクビクするような人生になってしまわないのでしょうか？
また、失敗や劣等感は傷となり、その痛みはどんどん増すという辛く苦しい人生になってしまわないのでしょうか？
英語でも「人間」はヒューマンビーイング（HUMAN-BEING）であり、ヒューマンドゥーイング（HUMAN-DOING）ではありません。
「何ができるか、できないか」だけで評価されるような存在ではないということではないのでしょうか？

あなたは、どちらの人生を好まれますか？選ばれますか？
あなたは、あなたのお子さんをどちらの人生へ導きたいと願われますか？
また、今現在あなたのお子さんを「商品」として扱ってしまっていることが無いですか？

私たちフリップジャパンは、お互いの存在を『最高傑作』として捉え、互いの個性やユニークさを尊重しあって生きていける関係を築いていきたいと願っています。

今日からお互いに、新たな思いをもって『最高傑作』としての豊かな人生をはじめて見ませんか？
『あなたがあなたであるために！』



Summer Camps Sign up now!



Video Letters



Every month, Flip releases a short video message on our website! Why don't you have a look!

Flip on Facebook!

Lean anywhere you go! Like us on Facebook to get free spelling lessons, tips for learning, and the latest news!



ワークショップ

6月23日（土曜日）

10時～12時

¥1,000

Childcare available!

親としての「ぶれない軸」を築き子育てする実践力を身につける

シリーズ②『子育てのゴールって？子どもの気持ちを読み取るスキルとは？』

教師：藤井恵嗣&藤井和美

- ・ 子どもの学習意欲を高め、良い習慣を身につけさせるコツを楽しく学びます！
- ・ 6回シリーズで、親としてのぶれない軸を構築し、実践力を高める子育てスキルを習得します。※どの回からでも参加できます！

